

## 総合演習

### 授業案フォーマット

#### 授業タイトル：ごみ問題ってなんだ？！

##### 子供の設定：

###### ●地域の特徴：

- ・町の人口は、約3万3千人。土地の約3割は米軍横田基地である。
- ・ごみの分別や回収方法が徹底的に決められている。例えば、ごみの回収の際に自治体で決められた有料のごみ袋に入れてごみを出さないと回収しない。また、ごみの量は住宅地のため多い。平成15年度には約15,000tであったごみの量が、平成16年度より実施されたごみの有料化により、平成18年度には12,700tに削減された。ごみの排出量は、全国平均よりも少ないが、不適正排出や不法投棄が見られる。
- ・子どもたちは、塾に通っているため隣町の駅周辺によく出かけている。隣町はごみの分別方法が異なる。

###### ●学年

〇〇小学校5年1組（架空クラス）

###### ●子供達の構成

子どもたちは30人で、男子15人、女子15人。男の子の一人が普段は特別支援学級で生活している（聴覚障害）。この児童には、特別支援学級の担任が付き添っている。クラス内での友人関係は良好である。男女も仲が良く、昼休みはみんなで校庭に出てドッジボールや鬼ごっこなど集団でできる遊びを中心に遊んでいる。最近は簡単な手話を道德の授業の中で覚えて、聴覚障害児の児童とも仲良く挨拶している。一人っ子はほとんどおらず、兄弟姉妹がいて、共働きの家庭が多い。放課後は、自分が持っている鍵で家に帰るか、児童館などの施設で遊んでいる。

##### 教師の問題意識：

環境問題の一環として、いわゆる「ごみ問題」がメディアなどでよく取り上げられている。ごみ問題は、子どもたちもよく耳にしているが、自分の地域のごみの分別について無関心である。子どもの中には教室に分別するごみ箱（燃えるごみと燃えないごみの2種類）を設置しても、ごみの仕分けができない子どもがいる。子どもたちは4年次・5年次の社会科の学習でごみ収集場に見学に行き、環境問題・ごみ問題について基礎知識は勉強している。本単元では自ら自覚を持ち、すすんで環境問題に取り組もうとする姿勢を身につけ、行動に結び付けられる実践にしていきたい。なぜなら、どんな場所においてもごみの分別ができるという、社会のルールをしっかりと守れる人にならなければいけないからである。また、日本の問題知り、地域の環境問題に対して何か行動できるような、実践をしたい。

##### 授業目的：（目に見えなくても構いません）

身の回りのごみ問題の現状と対策を通して、日本の環境問題への取り組みについて、発展的に学ぶ。そのうえで、自分たちにできるごみ問題を児童自身の問題としてとらえ、行動できる子どもを育てることを目的とする。

##### 子供達の到達目標：（目に見える具体的なものにします）

- ・自分の地域のごみ分別の種類を調べて特徴を挙げられる。
- ・ごみを地域のルール通りに分別できるようにする。
- ・他の地域とは分別方法を挙げられる。
- ・自分たちにできる取組みの中から、いくつか行動するようになる。
- ・教室においてあるごみ箱以外にもうひとつ新たなごみ箱（資源ごみ用）を作って、ごみを捨てる際に分別する。また、他学年の人にも分別を協力してもらおうよう、声かけをする。

授業計画：授業目的を達成するために必要な授業数と各授業の概要

授業回数	テーマ	各授業での子供達の具体的な達成目標
1	ごみの種類ってどのくらいあるの だろう？	実際に地域で扱っているごみを教室に持ってきて子どもたちにクイズ形式でゴミの仕分けを行う。クイズでごみの分別ができる。(グループごとに行う)
2	早河の取り組みはどうなっているの だろう？	前回のグループごとの活動計画表をもとに早河のごみ収集に問題点と疑問点(自分たちでなぜだろう？と思った点をなんでも)をグループごとに挙げ、発表する。
3	隣町の取り組みっていろいろあるん だ！	隣町の取り組み、ごみの量や対策の違いを挙げられる。
4	早河でもできることないかな？	隣町の取り組みから自分たちでできることを、ワークシートに記入できる。
5	自分にできることはないかな？	具体的に自分にできることを挙げられる。また、クラスとしてできること、家庭でできることに区別できる。
6	実際にごみ箱を作ってみよう！	各グループでごみ箱作りができる。ごみ箱は資源用ごみ箱(1グループ2つ、全部で6クラス)。
7	他のクラスにも取り組んでもらおう！	朝の時間に、グループごとに担当したクラスにごみ箱を持っていく。持っていった際に、そのクラスの人にも声かけをし、協力呼びかけることができる。
8	まとめ	自分たちにもできることがあることを指摘できる。自分たちのできること、できないことを挙げられる。自分たちの小さな取り組みでも継続していくことで大きな違いにつながることを説明できる。

本時の授業：上記の表の 1 回目の授業 (模擬授業は上記の授業計画の中の 1 つの授業をします)

本時の授業でのポイントや指導上の注意点

- ・ごみを分別する際は、衛生面を考え、ビニール手袋を着用し、また手洗いをするように指導する。
- ・ごみの分別の基準は瑞穂町のものとする。(隣町と混合しないよう注意する)
- ・グループでごみ分別の活動をする際は、燃えるごみ・燃えないごみのパネルを用意して、聴覚障害の児童も参加できるよう、「燃えるごみ」「燃えないごみ」など、分別のパネルを用意する。

授業方法：なぜ、その授業方法/教材、etc.を選んだのか？

- ・クイズ形式…導入部分としては楽しみながら、授業に取り組めるようにする
- ・体験活動…ごみを実践的に分別するために、授業の学びをより深める

本時の授業：

流れ	教師の指示内容	教師の動きなど	時間
導入	<p>●それでは授業を始めます。日直さん、号令をかけてください。(手話をつけて)</p> <p>●今日は、まず初めにクイズを出します。</p> <p>●さて、これは何ですか？ →・ごみ袋</p>	<p>○黒板に「ごみって何だろう～ごみの種類ってどのくらいあるのだろう～」のシートを掲示する</p> <p>○黒板に燃えるごみのごみ袋を貼る。</p>	

<p>・ビニール袋</p> <p>●みんながごみを捨てているごみ袋ですね。</p> <p>●では、これは何ですか？ →・ごみ袋 ・くず入れ ・燃えないごみの袋</p> <p>●両方ともごみ袋ですね。では、この2つのごみ袋の違いを言える人はいますか？ →・燃えるごみと燃えないごみのごみ袋 ・サイズが違う ・色が違う</p> <p>●確かに、サイズも色も違いますが、先生はこの2つのごみ箱の違いがよくわかるように、サイズも色も違うごみ袋を用意しました。〇〇さんが言ってくれたように、これは燃えるごみと燃えないごみのごみ袋という違いがあります。 では、また問題です。</p> <p>●では、今日の給食でみんなが食べたいちごジャムの空の袋は何ごみですか？ →・燃えないごみ ・燃えるごみ</p> <p>●どうしてそう思いましたか？ ・ビニールでできているから      ・中にジャムがついて汚れているから ・手で切れるから</p> <p>●私たちが住んでいる早川地区では、ジャムの袋は燃えるごみです。理由は、ビニールの中にジャムがついていて汚れているからです。学校ではどのクラスにもごみ箱が2つあります。燃えるごみと燃えないごみを分けることを「分別」といいます。みんなはしっかりと分別をしていますか？</p> <p>●では、何故私たちはごみを分別しなければならないのでしょうか？ →・ごみがたくさんあるから ・ダイオキシンが出るから</p> <p>●実は、ごみの分別方法は市町村によって違いがあります。それは、その市町村のごみ処分場があとどれくらいの期間使えるか、焼却炉は何度の炎でごみを焼くことができるのかなどによって、違いが発生します。</p> <p>●ごみは、1980年代の前後から急激に増加しました。</p> <p>●急増したごみを処分してきた結果、ごみを処分する場所が不足したり、ごみを燃やす際に発生するダイオキシンの問題や環境問題への私たちの注目は高まってきました。 ここで問題です。ダイオキシンという言葉聞いたことはありますか？ では、どうしてダイオキシンは発生すると問題になるのでしょうか？ →・病気になるやすいから ・体に悪いから</p> <p>●ダイオキシンには発がん物質といって、がんになりやすくするようなものが入っています。</p> <p>●このような問題に私たちが気付いたことで、ごみを分別し、それぞれを回収、リサイクルをし、最終処分場に運びこまれるごみの量を減らそうとする取組が活発になりました。</p> <p>●しかし、解決しなければならないこともあります。ゴミ分別を細かくするほどリサイクルには役立ちますが、それを集めるのにかかる手間やお金、私たち住民へ分別をすすめるなど、これからも考えていかなければならないことばかりです。</p>	<p>○燃えないごみのごみ袋を黒板に貼る。</p> <p>○今日の給食で配布されたいちごジャムの袋を見せる。</p>	<p>5分</p>
--	--	-----------

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●それでも、ごみそのものを減らすことで、焼却場や埋立地を少しでも長く使う事が出来ます。ごみを処理する施設をつくるためには、たくさんのお金が必要となり、場所もなかなか見つからないという問題もあります。</li> <li>●また、ごみとして捨てるのではなく、まだ使えるものをリサイクルすることによって、地球の限りある資源を有効に使う事が出来ます。このようなために、私たちは分別をしています。</li> </ul>		
展開	<p>「先生の家のごみチェック」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●では、実際に分別をしてみようと思います。今日は先生が、家からごみを持ってきました。 サランラップ、靴下、ペットボトル、電池、みんなが大好きなプリングルスの空箱、洗濯ばさみを持ってきました。</li> <li>●では、このごみを班で協力して分別してみましょう。全部の班にごみを持ってきました。机を班の形にしてください。10分で分別します。今から配るプリントに、班の番号、名前、分別したごみとその理由を書いてください。時間になったら学習係さんに各班1つずつ発表してもらいます。では、始めてください。</li> <li>●では、班ごとに発表してもらいます。最初に1班の学習係さん、サランラップは何にごみに分別しましたか？理由も教えてください。 →・サランラップの箱はもえるごみです。 ラップを切る刃があるから、それははがしてアルミに入れます。 芯はもえるごみにしました。</li> <li>●次に、2班さんは靴下を何ごみにしましたか？ →・布でできてるから、燃えるごみに入れました。</li> <li>●それでは3班さんは、ペットボトルをお願いします。 →・ビニールでできているから、ラベルは燃えないごみ ・キャップは燃えないごみ ・ペットボトルはリサイクルをしているのを見たことがあるから、ペットボトルのごみに入れました</li> <li>●4班さんは、電池を何ごみにしましたか？ →・危険物にしました。燃やしてはいけないとお母さんが言っていました。</li> <li>●では5班さんは、プリングルスの空き箱は何ごみにしましたか？ →・回りの分厚い紙は燃えるごみで、底はアルミ</li> <li>●最後に6班さん、洗濯ばさみは何ごみでしょうか？ →・洗濯ばさみは、中の金属を取りたかったんだけど、取れそうもないので、全部燃えないごみにしました。</li> </ul> <p>《各班の発表を受けて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●なるほど。○班さんは、燃えるごみに分別してくれましたが、他のごみに分別した班はありますか？</li> </ul> <p>&lt;違う班がある場合&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●○班さんは、何ごみに分別しましたか？理由も教えてください。 →・○○ごみ（発表した班とは違う分別）です。</li> <li>●ではみんながやった分別があっているか確認したいと思います。</li> <li>●いろいろな意見が出ていましたね。では、町の燃えるごみと燃えないごみの基準を見てみましょう。 瑞穂町早川地区の燃えるごみには、どんなものがありますか？ →汚れているもの →ティッシュ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ごみを見せ、教壇に乗せる。</li> <li>○プリントを配り、机間指導をする。</li> <li>○黒板にごみの名前を書き、発表の準備をする。</li> <li>○各班にすべてのごみについて説明させるのではなく、どれか1つを指定して質問する。</li> <li>○児童が発表する際、ごみを見せる。</li> <li>○各ごみについて出された分別方法に従って黒板にペープサートを貼る。</li> <li>○異なった意見も、板書する。</li> <li>○子どもが答えられるように問いかけをしながら説明する。</li> </ul>	25分

	<p>そうだね。汚れている物や紙でできているもの、あとは生ゴミも燃えるゴミなんですよ。</p> <p>では、燃えないゴミには、どんなものがありますか？</p> <p>→ビニールでできているものです。</p> <p>そうですね。ビニールでできているものは燃えないゴミです。</p> <p>そのほかに、ペットボトルや缶は別の袋に入れてそれぞれ回収する日があり、危険物も同じ日に回収します。</p> <p>この方法で今のごみを分別すると、サランラップの箱と芯、プリングルスの厚紙は紙でできているので、燃えるゴミです。靴下も燃えるゴミです。</p> <p>それから、ペットボトルのラベルはビニールでできているから燃えないゴミ。洗濯ばさみとプリングルスの蓋はプラスチックでできているから燃えないゴミですね。</p> <p>その他に、ペットボトルはペットボトル、プリングルスの蓋とサランラップの刃はアルミでできているから、アルミごみに分別されることがわかりますね？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●では、分別されたごみがどうなるのか書いてある紙を用意しました。</li> <li>●それぞれのごみがどうなるのか書いてあります。では〇〇さん、最初に書いてある説明文を読んでください。</li> <li>●次から、いろいろなごみが回収された後、どうなるのかが書いてあります。燃えるゴミについて読んで、隣の〇〇さん読んでください。</li> <li>●次に燃えないゴミについて、〇〇さんお願いします。</li> <li>●ペットボトルについて〇〇さん読んでください。</li> <li>●缶について、すこし短いけれど、〇〇さんお願いします。</li> <li>●最後に電池について説明を読んでください。〇〇さんお願いします。</li> <li>●このように、それぞれのごみは回収された後は違うように扱われて、再び何かに生まれ変わったり、埋められたりしています。その作業がうまくいくように、またガスなどを出して町の環境を壊さないためにも、ごみの分別は大切なことです。</li> </ul>	<p>○子どもが答えられるように問いかけする。</p> <p>○正解を言いながら、正しい分別方法を磁石で張り付ける。</p> <p>○黒板に模造紙で作成したごみの今後の流れを貼り、それを児童に読んでもらう。</p>	
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今日はごみの分別について勉強しました。習ったことを活かして、テストをしたいと思います。職員室の低学年、中学年、高学年の先生方のごみ箱を借りてきました。</li> <li>1班と2班、3班と4班、5班と6班の3つにわかれて、それぞれ協力して分別して、このごみ袋に入れてみましょう。来週、どこのチームが1番正確に分けられていたか発表したいと思います。</li> <li>1つ注意があります。今から全員にビニール手袋も配るので、ごみを触る時は、必ずビニール手袋をつけましょう。</li> <li>各班の配り係の人は、ごみ箱とごみ袋、それからビニール手袋を取りに来てください。</li> <li>●はい、3つのグループとも作業が終わりました。</li> <li>ごみの分別の大切さがわかりましたか？ もう、今日からみんなは分別博士だと思います。おうちの人や、低学年のお友達にも優しく教えてあげてください。</li> <li>●では、これで今日の授業を終わります。授業が終わったら必ず手洗いをしてください。それでは日直さん、挨拶をお願いします。</li> </ul>	<p>○ごみ箱とごみ袋を配布する。</p> <p>○机間指導をして、間違いがないようにチェックし、間違っていた場合は全体に説明する。</p>	<p>10分</p>

評価：授業で学んだことを、まとめの分別の際に実践することができる。